

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム広野【事業所番号：0670800911】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	〔製品名〕眠りSCAN 〔導入台数〕80台 〔導入日〕令和6年2月29日		
事業完了日（支払日）	令和6年3月15日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境としては、構造上、①ユニット間の見守りが困難。②ユニット内でも、居室同士が離れており、共有の廊下も直線ではなく、入り組んでおり、見守りが困難である。上記①②の理由で、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯（夜勤業務）の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	導入後（3週間後）のアンケートでは、眠りSCAN導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、90%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠りSCANの活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、100%となった。以上の結果と上記の①②から、80床に対し、眠りSCAN80台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠りSCAN導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への時間等）、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年8月1日 ～令和5年8月20日	施設長、介護係長、ユニットリーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和6年2月15日 ～令和6年2月29日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明及び職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 施設長ほか
令和6年3月1日 ～令和6年3月14日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。令和6年3月1日より、運用開始。	施設長ほか
令和6年3月15日 ～令和6年3月25日	3週間後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。（1年目）	施設長ほか

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所さくらホーム広野【事業所番号：0670800903】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN [導入台数]80 台 [導入日]令和 6 年 2 月 29 日		
事業完了日（支払日）	令和 6 年 3 月 15 日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境としては、構造上、①ユニット間の見守りが困難。②ユニット内でも、居室同士が離れており、共有の廊下も直線ではなく、入り組んでおり、見守りが困難である。上記①②の理由で、毎日 24 時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯（夜勤業務）の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	導入後（3 週間後）のアンケートでは、眠り SCAN 導入により、精神的なストレスが少し軽減、あるいは軽減されたと答えた職員は、100%となった。また、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠り SCAN の活用は、リスク軽減につながっているとお思いに思う、少し思うと答えた職員は、100%となった。以上の結果と上記の①②から、20 床に対し、眠り SCAN 20 台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠り SCAN 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への時間等）、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和 5 年 8 月 1 日 ～令和 5 年 8 月 20 日	施設長、介護係長、ユニットリーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和 6 年 2 月 15 日 ～令和 6 年 2 月 29 日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明及び職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 施設長ほか 備等）
令和 6 年 3 月 1 日 ～令和 6 年 3 月 14 日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。令和 6 年 3 月 1 日より、運用開始。	施設長ほか
令和 6 年 3 月 15 日 ～令和 6 年 3 月 25 日	3 週間後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。（1 年目）	施設長ほか

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	特別養護老人ホームさくらホーム山形【事業所番号：0670103530】		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス	定員数	80名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN [導入台数]80台 [導入日]令和6年2月21日		
事業完了日(支払日)	令和6年3月15日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入)リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	施設環境としては、構造上、①個室ユニット型のため、一度の訪室で1名の状態把握しかできない。②ユニット内でも、トイレによって居室同士が離れており、見守りが困難である。上記①②の理由で、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯(夜勤業務)の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	導入後(1ヶ月後)のアンケートでは、眠り SCAN 導入により、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠り SCAN の活用は、リスク軽減につながっているとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、93.75%となった。また、看取りのご利用者様の急な容態変化等の対応に役立つとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、90.63%となった。以上の結果と上記の①②から、80床に対し、眠り SCAN 80台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠り SCAN 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果(訪室への時間等)、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年8月1日 ～令和5年8月20日	施設長、介護係長、ユニットリーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備(導入・活用・効果検証の各担当者)の選定、実際に機器を使用する者(介護職員等)の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和6年2月15日 ～令和6年2月22日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明及び職員の習熟及び教育・研修計画(マニュアル整備等)を実施。	機器設置者 施設長ほか
令和6年2月23日 ～令和6年3月14日	導入によるケア方法(見守り業務)の見直しを実施。令和6年2月22日より、運用開始。	施設長ほか
令和6年3月15日 ～令和6年3月25日	1ヶ月後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。(1年目)	施設長ほか

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人さくら福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所さくらホーム山形 【事業所番号：0670103548】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	〔製品名〕眠りSCAN 〔導入台数〕20台 〔導入日〕令和6年2月21日		
事業完了日（支払日）	令和6年3月15日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入）リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	施設環境としては、構造上、①個室ユニット型のため、一度の訪室で1名の状態把握しかできない。②ユニット内でも、トイレによって居室同士が離れており、見守りが困難である。上記①②の理由で、毎日24時間体制の見守り業務内にて使用し、特に夜勤帯（夜勤業務）の訪室以外の時間帯での見守り業務の強化を図った。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	導入後（1ヶ月後）のアンケートでは、眠りSCAN導入により、転倒リスクがあるご利用者様の見守り業務に、眠りSCANの活用は、リスク軽減につながっているとのおおいに思う、少し思うと答えた職員は、85.71%となった。また、看取りのご利用者様の急な容態変化等の対応に役立つとおおいに思う、少し思うと答えた職員は、100%となった。以上の結果と上記の①②から、20床に対し、眠りSCAN20台の導入は妥当であった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	眠りSCAN導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果（訪室への時間等）、転倒事故への怖れからくる日々の心理的ストレス軽減効果などについて、聞き取りをし、記録にまとめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年8月1日 ～令和5年8月20日	施設長、介護係長、ユニットリーダーを中心に、見守り業務の状況分析・問題点の洗い出しを実施し、機種選定・導入計画の検討。導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）の選定、実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見聴取を実施。結果を事業計画書に反映。	施設長ほか
令和6年2月15日 ～令和6年2月22日	機器導入。開発メーカーからの取扱い説明及び職員の習熟及び教育・研修計画（マニュアル整備等）を実施。	機器設置者 施設長ほか
令和6年2月23日 ～令和6年3月14日	導入によるケア方法（見守り業務）の見直しを実施。令和6年2月22日より、運用開始。	施設長ほか
令和6年3月15日 ～令和6年3月25日	1ヶ月後での効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。（1年目）	施設長ほか

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	オーリンク株式会社		
事業所名	グループホームあさひ		
介護サービスの種類	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	定員数	18名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名]電動リモートコントロールベッド エスパシア KA-N1471J [導入台数] 15 式 [導入日] 令和 6 年 3 月 29 日		
事業完了日(支払日)	令和 6 年 3 月 29 日(令和 6 年 4 月 30 日支払予定)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○ 購入 リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	認知症を患った利用者の起き上がり動作を常時見守るために使用する。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	認知症を患った利用者がベッドから離床する際の起き上がり動作を見守る機能を有した特殊寝台を導入することで、職員の巡視を効率よく行い不必要な巡視を低減できることで、利用者が介助を必要とするときに円滑に対応でき、介助事故を抑制するとともに介護職員の身体的負担の軽減効果も期待できる。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	日常業務において常に正常に使用できることで介護職員の負担軽減効果を発揮していく機器になるので、定期的なメンテナンスや新規職員に対する教育訓練を定期的に行っていく必要がある。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和 5 年 8 月	事業所内における認知症利用者対応における現状把握	本社社長・事業所管理者
令和 5 年 9 月	現状把握した内容を踏まえた機器選定等の対応策検討	本社社長・事業所管理者
令和 5 年 9 月	対応策(案)を介護職員間で意見徴収し、対策及び選定機種を決定	事業所全職員
令和 6 年 3 月 29 日	本件機器の導入・運用開始	事業所全職員
令和 6 年 4 年(予定)	前月の状況等を踏まえ、必要に応じたケア方法や巡視方法の見直し(以下適宜実施)と効果検証	本社社長・事業所管理者
令和 7 年 3 月(予定)	令和 6 年度全体を通じた効果検証の実施	事業所全職員
令和 8 年 3 月(予定)	令和 7 年度全体を通じた効果検証の実施	事業所全職員
令和 9 年 3 月(予定)	令和 8 年度全体を通じた効果検証の実施	事業所全職員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 川西福祉会		
事業所名	短期入所生活介護事業所 そよ風の森		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	20人
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ND ソフトウェア Vital Beats [導入台数] 3台 [導入日] 令和6年2月16日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月28日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	3台のベットセンサーを導入した。今までのような音が鳴ったら向かうセンサーマットではなく、入所者の睡眠、覚醒、起き上がり、離床、呼吸数、心拍数を常時パソコン画面で確認して動くことが出来る。現在は、動きのあるご利用者様に利用している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	R6年2月16日に設置したが、不具合などがあり、何度もNDソフトウェア担当者に来ていただき、設定を調整し、不具合の原因を検討した。3月22日ND担当者に再度来社していただき、設定した。効果についてはまだ導入したばかりで得られていない。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	短期入所は、出入りがあり固定ではないため、使い方を今後も検討していく。合わせて、職員の負担軽減になっているかなど、委員会で効果検証、検討していく。 導入後(翌年)1年目 夜間の転倒等の事故減少。モニター確認することでの確な訪室により、職員の負担軽減、業務の効率化。 ○2年目 介護サービスの質の向上、働きやすい職場づくり、介護人材定着 ○3年目 介護サービスの質の向上、働きやすい職場づくり、介護人材定着
------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R5年11月	Vital Beats 発注	荘長補佐
R6年1月	Vital Beats	
R6年2月16日	Vital Beats 設置、説明 (ND)	介護員、事務員、業務員
R6年2月17日	職員に使用方法の周知	介護員
R6年2月28日	支払日	事務員
R6年3月1日	Vital Beats 接続、設定確認 (ND)	介護員
R6年3月1日	Vital Beats 接続、設定確認 (ND)	介護員
R6年3月22日	Vital Beats 接続、設定確認 設置完了 (ND)	介護員、事務員、業務員
R6年6月	アンケートを実施	介護員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 川西福祉会		
事業所名	特別養護老人ホーム そよ風の森		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	100人
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] ND ソフトウェア Vital Beats [導入台数] 13台 [導入日] 令和6年2月16日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月28日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	特養北棟50人に7台、南棟50人に6台のベットセンサーを導入した。今までのような音が鳴ったら向かうセンサーマットではなく、入所者の睡眠、覚醒、起き上がり、離床、呼吸数、心拍数を常時パソコン画面で確認して動くことが出来る。現在は、動きのあるご利用者様や看取りケア時期のご利用者様に利用している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	R6年2月16日に設置したが、不具合などがあり、何度もNDソフトウェア担当者に来ていただき、設定を調整し、不具合の原因を検討した。3月22日ND担当者に再度来社していただき、再設定した。夜間などモニターを見て早めに動くことが出来ている。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	今後各委員会で効果検証、検討を行っていく。 導入後(翌年)1年目 導入機器の使用方法について職員が周知する。要観察入所者の状況を把握し、安全性を向上させる。職員の負担軽減。
	○2年目 導入したことで安全性の検証と入所者への効果検証、サービスの質の向上、職員負担軽減。介護人材定着。
	○3年目 さらなる安全性の検証とサービスの質の向上。介護人材定着。

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R5年11月	Vital Beats 発注	荘長補佐
R6年1月	Vital Beats 納品 (ND)	
R6年2月16日	Vital Beats 設置、説明 (ND)	介護員、事務員、業務員
R6年2月17日	職員に使用方法の周知	介護員
R6年2月28日	支払い日	事務員
R6年3月1日	Vital Beats 接続、設定確認 (ND)	介護員
R6年3月1日	Vital Beats 接続、設定確認 (ND)	介護員
R6年3月22日	Vital Beats 接続、設定確認 設置完了 (ND)	介護員、事務員、業務員
R6年6月	アンケートを実施	介護員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 松風会		
事業所名	特別養護老人ホームはとみね荘 【事業所番号：0672600095】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	8名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名][導入台数] ○介護ロボット ・パラマウントベッド製 眠りスキャン 1台 アップル製 iPad を付属 ○通信環境整備 ・バッファロー製 法人向け管理者機能搭載アクセサリ WAPM-1266R 4台 [導入日] 令和6年1月30日		
事業完了日（支払日）	令和6年2月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	・毎日24時間の見守り業務内で使用している。 利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をモニターで可視化し、業務の効率化・職員の負担軽減を図るようにしている。 ・データを基に根拠のあるケアを行うことで、個別ケアや安全性向上につなげられるようにしている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	・見守り機器を導入したことで、機器を設置した利用者様については、モニターで様子が把握できるようになり、訪室回数を削減でき、特に夜勤担当職員の負担軽減になっている。 ・睡眠リズムを把握できるようになり、その方に合った生活で目指すことで、根拠のある個別ケアを目指すようにしている。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	【課題】 ・見守り機器導入から日が浅く、使用方法にも慣れていないため、職員全員が使いこなせるまでに至っていない。 【次年度の計画】 ・委員会を立ち上げ、見守り機器の目的や使用方法の職員研修を行う。 ・モニターの記録や起居作動時の原因を職員間で共有し、アセスメントに活用し、個別ケアや安全性向上につなげていく。
------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年6月1日 ～ 令和5年7月31日	見守り機器等事業者説明の実施、介護ソフト業者との打ち合わせ、ICT機器導入施設視察等を実施し、見守り機器等の導入を検討する。	管理者・次長・介護職員・看護職員・生活相談員
令和5年8月1日 ～ 令和5年9月31日	諸会議で見守り機器を導入することをホームの方針とすることを決定し、県への協議書類提出と法人理事会での協議を行う。	管理者・次長・介護職員・看護職員・生活相談員
令和5年10月1日～ 令和5年12月31日	補助金交付決定後、見守り機器納入業者の選定及び通信環境整備事業の入札及び施工業者決定	管理者・次長等
令和6年1月23日 ～令和6年1月29日	通信環境整備工事及び納入機器調整の実施	施工業者
令和6年1月30日	見守り機器の納品 設置と説明操作を受ける。	管理者・介護職員・看護職員・生活相談員
令和6年3月5日・ 12日	見守り機器及び介護ソフトについての研修会を実施	管理者・介護職員・看護職員・生活相談員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 松風会		
事業所名	特別養護老人ホームはとみね荘 【事業所番号：0672600095】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	62名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名][導入台数] ○介護ロボット ・バラマウントベッド製 眠りスキャン 2台 アップル製 iPad を付属 ○通信環境整備 ・バッファロー製 法人向け管理者機能搭載7ポート WAPM-1266R 24台 レイヤ-2 Giga Poe スワッチ8ポート BS-GS2008P 1台 レイヤ-2 Giga Poe スワッチ16ポート BS-GS2016P 3台 ネットワーク工事 一式 ・ ネットワーク機器納入 一式 [導入日] 令和6年1月30日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入(リース(契約期間 年 月～ 年 月))		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	・毎日24時間の見守り業務内で使用している。 入居者様の情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)をモニターで可視化し、業務の効率化・職員の負担軽減を図るようにしている。 ・データを基に根拠のあるケアを行うことで、個別ケアや看取りケアの質向上につながられるようにしている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	・見守り機器を導入したことで、機器を設置した入居者様については、モニターで様子が把握できるようになり、訪室回数を削減でき、特に夜勤担当職員の負担軽減になっている。 ・睡眠リズムを把握できるようになり、その方に合った生活で目指すことで、根拠のあるケアができるようになっている。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	【課題】 ・見守り機器導入から日が浅く、使用方法にも慣れていないため、職員全員が使いこなせるまでに至っていない。 【次年度の計画】 ・委員会を立ち上げ、見守り機器の目的や使用方法の職員研修を行う。 ・モニターの記録や起居作動時の原因を職員間で共有し、入居者アセスメントに活用し、ケアプランの内容や個別ケアにつなげていく。
------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年6月1日 ～ 令和5年7月31日	見守り機器等事業者説明の実施、介護ソフト業者との打ち合わせ、ICT機器導入施設視察等を実施し、見守り機器等の導入を検討する。	管理者・次長・介護職員・看護職員・生活相談員
令和5年8月1日 ～ 令和5年9月31日	諸会議で見守り機器を導入することをホームの方針とすることを決定し、県への協議書類提出と法人理事会での協議を行う。	管理者・次長・介護職員・看護職員・生活相談員
令和5年10月1日～ 令和5年12月31日	補助金交付決定後、見守り機器納入業者の選定及び通信環境整備事業の入札及び施工業者決定	管理者・次長等
令和6年1月23日 ～ 令和6年1月29日	通信環境整備工事及び納入機器調整の実施	施工業者
令和6年1月30日	見守り機器の納品 設置と説明操作を受ける。	管理者・介護職員・看護職員・生活相談員
令和6年3月5日・ 12日	見守り機器及び介護ソフトについての研修会を実施	管理者・介護職員・看護職員・生活相談員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 山形		
事業所名	特別養護老人ホームサンシャイン大森 【事業所番号：0670100783】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	90名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	〔製品名〕 Vital Beats 3in1		
	〔導入時期〕 令和 6年 3月 25日 [導入台数] 90台		
事業完了日(支払日)	令和 6年 3月 25日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○(購)入(リース(契約期間 年 月～ 年 月))		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	アラーム機能を用いての利用者の生活パターン・行動把握、転倒予防 心拍・呼吸状態をモニタリング、異変時の看護師への早期報告 体動が少ない方、または褥瘡リスクが高い方への適切な除圧の介入時間の把握		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	正式稼働から日数が浅く主観的な意見になるが、看取り期の最期に呼吸や心拍の変化に関連性のある変化がみられ、前もってアラームを設定しておくことで早期発見が期待できる。 今回介護ロボットを導入する前は離床センサーの数に限りがあり、使用できる利用者が限定的で優先順位をつけなければならなかったが、今後は必要な利用者全員に使用できその際の取り外しや移動も必要ないため、業務負担の軽減が期待できる。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	正式稼働から日数が浅く職員への周知を進めていく必要があり、介護ロボットを用いての業務に慣れていく。 パソコン上でしかモニタリングが行えないため今後予定しているタブレットへの導入を進めて、更に介護ロボットを使用できる機会を増やし利用者の生活パターンの把握につなげる。 ベッドや周辺環境、通信環境によって正確なデータが取れるかわかってくるため各業者とも情報共有していき効率よく運用できるよう検証していく。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年11月1日 ～2023年12月12日	機器の選定 NDソフトウェア開発のアプリを施設で使用しており、連動している Vitalbeats3in1 を選定した。	施設職員
2023年12月13日 ～2023年12月21日	介護ロボット機器の発注 入札日：2023年12月13日 契約日：2023年12月21日	株式会社 メコム職員
2023年12月21日 ～2024年3月22日	介護ロボット機器の事前設定/構築	株式会社 メコム職員
2024年3月11日 ～2024年3月24日	介護ロボットの現地設定・試験運用	Future Ink 職員2名 NDソフトウェア職員2名
2024年3月18日 ～2024年3月24日	試験運用に基づいた状況分析 問題点洗い出し	施設職員
2024年3月18日 ～2024年3月19日	本稼働に向けた最終操作指導	Future Ink 職員 NDソフトウェア職員 施設職員
2024年3月25日～	正式稼働 支払日：2024年3月25日	施設職員
2024年3月25日 ～2024年4月12日	正式稼働後の効果検証	施設職員
2024年4月13日～	検証結果に基づき業務改善の継続実施	施設職員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 山形		
事業所名	地域特別養護老人ホームサンシャイン大森 【事業所番号：0690100532】		
介護サービスの種類	地域密着型介護老人福祉施設	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] Vital Beats 3in1 [導入時期] 令和6年3月25日 [導入台数] 20台		
事業完了日(支払日)	令和6年3月25日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○(購)入(リース(契約期間 年 月～ 年 月))		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	アラーム機能を用いての利用者の生活パターン・行動把握、転倒予防 心拍・呼吸状態をモニタリング、異常時の看護師への早期報告 体動が少ない方、または褥瘡リスクが高い方への適切な除圧の介入時間の把握		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	正式稼働から日数が浅く主観的な意見になるが、看取り期の最期に呼吸や心拍の変化に関連性のある変化がみられ、前もってアラームを設定しておくことで早期発見が期待できる。 今回介護ロボットを導入する前は離床センサーの数に限りがあり、使用できる利用者が限定的で優先順位をつけなければならなかったが、今後は必要な利用者全員に使用できその際の取り外しや移動も必要ないため、業務負担の軽減が期待できる。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	正式稼働から日数が浅く職員への周知を進めていく必要があり、介護ロボットを用いての業務に慣れていく。 パソコン上でしかモニタリングが行えないため今後予定しているタブレットへの導入を進めて、更に介護ロボットを使用できる機会を増やし利用者の生活パターンの把握につなげる。 ベッドや周辺環境、通信環境によって正確なデータが取れるか変わってくるため各業者とも情報共有していき効率よく運用できるよう検証していく。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年11月1日 ～2023年11月30日	機器の選定 NDソフトウェア開発のアプリを施設で使用しており、連動している Vitalbeats3in1を選定した。	施設職員
2023年12月13日 ～2023年12月21日	介護ロボット機器の発注 入札日：2023年12月13日 契約日：2023年12月21日	株式会社 メコム職員
2023年12月21日 ～2024年3月22日	介護ロボット機器の事前設定／構築	株式会社 メコム職員
2024年3月11日 ～2024年3月24日	介護ロボットの現地設定・試験運用	Future Ink 職員2名 NDソフトウェア職員2名
2024年3月18日 ～2024年3月24日	試験運用に基づいた状況分析 問題点洗い出し	施設職員
2024年3月18日 ～2024年3月19日	本稼働に向けた最終操作指導	Future Ink 職員 NDソフトウェア職員 施設職員
2024年3月25日～	正式稼働 支払日：2024年3月25日	施設職員
2024年3月25日 ～2024年4月12日	正式稼働後の効果検証	施設職員
2024年4月13日～	検証結果に基づき業務改善の継続実施	施設職員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 山形		
事業所名	サンシャイン大森ショートステイセンター 【事業所番号： 0670100320 】		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	10名
（介護ロボットの製品名） （通信環境整備の製品名） 導入時期及び台数	【製品名】 Vital Beats 3in1 【導入時期】 令和 6年 3月 25日 【導入台数】 10台		
事業完了日（支払日）	令和 6年 3月 25日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入）リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	アラーム機能を用いての利用者の生活パターン・行動把握、転倒予防 心拍・呼吸状態をモニタリング、異常時の看護師への早期報告 体動が少ない方、または褥瘡リスクが高い方への適切な除圧の介入時間の把握		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	正式稼働から日数が浅く主観的な意見になるが、看取り期の最期に呼吸や心拍の変化に関連性のある変化がみられ、前もってアラームを設定しておくことで早期発見が期待できる。 今回介護ロボットを導入する前は離床センサーの数に限りがあり、使用できる利用者が限定的で優先順位をつけなければならなかったが、今後は必要な利用者全員に使用できその際の取り外しや移動も必要ないため、業務負担の軽減が期待できる。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	正式稼働から日数が浅く職員への周知を進めていく必要があり、介護ロボットを用いての業務に慣れていく。 パソコン上でしかモニタリングが行えないため今後予定しているタブレットへの導入を進めて、更に介護ロボットを使用できる機会を増やし利用者の生活パターンの把握につなげる。 ベッドや周辺環境、通信環境によって正確なデータが取れるかわかってくるため各業者とも情報共有していき効率よく運用できるよう検証していく。 ショートステイは入退所が激しく、ベッド移動も頻回な為介護ロボ		

	ットと利用者の紐づけがずれやすく、管理をどうしていくか検討が必要になっていく。
--	---

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年11月1日 ～2023年12月12日	機器の選定 ND ソフトウェア開発のアプリを施設で使用しており、連動している Vitalbeats3in1 を選定した。	施設職員
2023年12月13日 ～2023年12月21日	介護ロボット機器の発注 入札日：2023年12月13日 契約日：2023年12月21日	株式会社 メコム職員
2023年12月21日 ～2024年3月22日	介護ロボット機器の事前設定／構築	株式会社 メコム職員
2024年3月11日 ～2024年3月24日	介護ロボットの現地設定・試験運用	Future Ink 職員2名 ND ソフトウェア職員2名
2024年3月18日 ～2024年3月24日	試験運用に基づいた状況分析 問題点洗い出し	施設職員
2024年3月18日 ～2024年3月19日	本稼働に向けた最終操作指導	Future Ink 職員 ND ソフトウェア職員 施設職員
2024年3月25日～	正式稼働 支払日：2024年3月25日	施設職員
2024年3月25日 ～2024年4月12日	正式稼働後の効果検証	施設職員
2024年4月13日～	検証結果に基づき業務改善の継続実施	施設職員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人舟和会 三子区 三子三空		
事業所名	特別養護老人ホームえんじゅ荘		
介護サービスの種類	介護福祉施設サービス、短期入所生活介護	定員数	94名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] パラマウントベッド（エスパシアシリーズ/KA-N1712J） [導入台数] 10台 [導入日] 令和6年2月21日		
事業完了日（支払日）	令和6年3月 日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	ご利用者様がベッドで休まれている際に、起き上がりや離床した際にナースコールされます。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	従来より見守り機器は床に敷くタイプのナースコールマットを使用していますが、ご利用者さまへの対応が遅れてしまうこともありました。 今回、見守りセンサー内蔵のベッドを導入したことにより、ご利用者様がベッドからの起き上がりやベッドから離れた際はすぐにナースコールが作動するため、ご利用者様の安全安心と職員の見守り体制の強化が図られています。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	○導入後（翌年）1年目～3年目 見守り体制の強化を図り、ご利用者様の安心安全を図りながら、職員の業務効率化と介護の負担軽減を図ります。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
5年7月25日 ～5年7月31日	ベッド更新状況の確認と追加更新の有無について確認	介護職員
5年7月25日 ～5年7月31日	導入担当者・チーム体制整備（導入・活用・効果検証の各担当者）	介護職員 事務職員
5年7月25日 ～5年7月31日	機種選定・導入時期の検討	介護職員 事務職員
5年7月25日 ～5年7月31日	実際に機器を使用する者（介護職員等）の意見徴収	介護職員 事務職員
5年8月1日 ～5年8月15日	ベッドの見積書徴収	事務職員
5年8月23日	補助金交付申請	
5年11月10日	補助金交付決定	
6年1月15日	ベッド売買契約及び発注	事務職員
6年2月21日	ベッド納品（使用開始）	介護職員 事務職員
6年3月11日	ベッド支払日完了	事務職員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社 カインド・ホーム		
事業所名	グループホーム沖郷【事業所番号：0691900120】		
介護サービスの種類	認知症対応型共同生活介護	定員数	18名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] AIセンサーセンティネア3(センサーカメラ)・aams(介護用生体センサー) [導入台数] センサーカメラ 35台・介護用センサーaams 6台 [導入日] 令和6年1月23日		
事業完了日(支払日)	令和6年1月31日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	お客様の見守り 24時間365日使用		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	・センサーカメラ 利用者や家族にとっては安心に繋がっている。 職員にとってはリスクヘッジなので、これから実際にセンサーが感知し効果を実感できると考えている。 ・ペットセンサー ペットセンサーについては増設し全室に導入、夜間帯や看取り時に満足度が高い。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	センサーによって今まで気付かなかったことに気づくようになって負担増に思う職員がいる。センサーがない場合のリスク等の研修が必要。		

2 実施経過

年月日 年 月 日 ～ 年 月 日	実施内容	従事者 □□ほか○名
令和5年7月～8月	現在、ペットセンサーを導入している。職員がペットセンサー反応で居室訪問するが、訪問の必要がない反応も多数あることが分かり AI カメラとペットセンサーの併用で不要な訪問(職員の負担)を削減したく導入を検討	職員 代表取締役
令和5年11月10日	交付決定	
令和5年11月11～17日	最終仕様決定	職員
令和5年12月1日	発注	代表取締役
令和6年1月15日	ペットセンサー、カメラ 順次納品完了	メーカー
令和6年1月23日 ～ 令和6年12月31日	・職員に対し機器取扱説明会を実施し運用開始 ・習熟度アップについてフォローアップ研修を実施し必要に応じてミー カーからのオンライン教育を行う。 ・導入担当者は管理者、機器の活用・効果検証担当は介護職員により 選定とする。又実施内容について所内カンファレンスで協議・共有 とする。 ・導入によるケア方法の見直し、訪室・声掛けの要否を検討し利用者 生活リズム改善に努める	職員
令和6年1月31日	支払い完了	代表取締役

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社 カインド・ホーム		
事業所名	デイサービスカインド・ホーム萩生田【事業所番号：0671900520】		
介護サービスの種類	通所介護	定員数	18名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] AIセンサーセンティネア3(センサーカメラ)・aams(介護用生体センサー) [導入台数] センサーカメラ5台・介護用センサーaams 6台 [導入日] 令和6年1月23日		
事業完了日(支払日)	令和6年1月31日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	お客様の見守り 24時間365日使用		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	・センサーカメラ 利用者や家族にとっては安心に繋がっている。 職員にとってはリスクヘッジなので、これから実際にセンサーが感知し効果を実感できると考えている。 ・ペットセンサー ペットセンサーについては増設し全室に導入、夜間帯や看取り時に満足度が高い。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	センサーによって今まで気付かなかったことに気づくようになって負担増に思う職員がいる。センサーがない場合のリスク等の研修が必要。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和5年7月～8月	現在、ペットセンサーを導入している。職員がペットセンサー反応で居室訪問するが、訪問の必要がない反応も多数あることが分かり AI カメラとペットセンサーの併用で不要な訪問(職員の負担)を削減したく導入を検討	職員 代表取締役
令和5年11月10日	交付決定	
令和5年11月11～17日	最終仕様決定	職員
令和5年12月1日	発注	代表取締役
令和6年1月15日	ペットセンサー、カメラ 順次納品完了	メーカー
令和6年1月23 ～ 令和6年12月31日	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対し機器取扱説明会を実施し運用開始 習熟度アップについてフォローアップ研修を実施し必要に応じメーカーからのオンライン教育を行う。 導入担当者は管理者、機器の活用・効果検証担当は介護職員により選定とする、又実施内容について所内カンファレンスで協議・共有とする。 導入によるケア方法の見直し、訪室・声掛けの要否を検討し利用者生活リズム改善に努める 	職員
令和6年1月31日	支払い完了	代表取締役

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人みゆき福祉会		
事業所名	地域密着型特別養護老人ホームみずほの里		
介護サービスの種類	地域密着型特別養護老人ホーム	定員数	20名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	【製品名】 眠り SCAN 及び管理用ノートパソコン 【導入台数】 5台 【導入日】		
事業完了日（支払日）	令6年2月26日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入）リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	・令和6年2月1日納品完了し、当日機器説明会を実施。当日より試験運用を開始した。現在は夜間の利用者様の状況をスマホとノート型パソコンにて確認をしている。 ・機器の効果的な使用方法を探るため、リスクの少ない利用者様から導入とした。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	呼吸状態等把握することで、看取り対象者様の訪室時、職員の精神的負担が軽減した。また、利用者様の一日の睡眠状態を把握することで日中の関わり方の検討資料となった。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	○導入後（翌年）1年目 看取り対象の利用者様の訪室時、職員の精神的負担が軽減する。また、事故発生時の原因究明に活用ができ、転倒事故の減少が期待される。 ○2年目 データ収集により、ご利用者への日中の関わり方が確立され、夜間の睡眠の質の向上が見込まれる。 職員の不要な巡視が減少することで、身体的な負担も軽減される。		

○3年目 職員の身体的・精神的負担の軽減により、労働環境の改善が見込まれる。

2 実施経過

年月日 年 月 日 ～ 年 月 日	実施内容	従事者 □□ほか○名
令和5年9月	介護ロボット検討委員会 業務の状況分析・導入計画の検討	施設長他7名
令和6年1月	機器発注	
令和6年2月1日	納品・機器説明会	他7名
令和6年2月	運用開始	他14名
令和6年3月	使用職員アンケート実施	他14名
令和6年2月26日	支払日	
令和6年3月下旬予定	職員アンケートの集計と検証	他4名
令和7年3月予定	使用職員アンケート実施	他14名
令和7年3月下旬予定	職員アンケートの集計と検証	他4名
令和8年3月予定	使用職員アンケート実施	他14名
令和8年3月下旬予定	職員アンケートの集計と検証	他4名
毎月1回	介護ロボット検討委員会にて運用状況の確認と活用方法の検討を行う	施設長他7名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人山形公和会		
事業所名	特別養護老人ホームみこころの園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	84名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN Wi-Fi アクセスポイント増設整備 [導入台数] 10台 [導入日] 令和6年1月23日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月26日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入)リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	看取り期のご利用者様へ配置し、毎日使用している。 眠り SCAN より得られたデータを活用し、ベッド上での生活状況の可視化や睡眠状況の把握を行っている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	メーカーより使用方法とデータの活用方法の研修会を実施してもらい現在使用中。使用開始から1ヵ月が過ぎアンケートを実施、現在回答を集計中。十分な評価をできない部分はあるが、看取り期のご利用者様に使用し、呼吸状態、心拍数をリアルタイムで観察ができ、体調変化への迅速な対応に役立っている。 利用者の離床前の動き(端座位、離床)の確認ができ既に設置済みの見守りカメラとの連動もしていることから事故防止と介護職員の業務の負担軽減にもつながっている。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	職員研修やマニュアルを作成し、全職員が機器操作に習熟できるよう環境を整える。 眠り SCAN 導入後、介護職員へのアンケートを実施。見守り業務の軽減効果(訪室への時間等)、職員の業務負担軽減などについて聞き取りをし、記録にまとめる。次年度も継続する。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年6月1日 ～6月20日	業務の状況分析、問題点の洗い出しを実施。	施設長、介護総括主任他7名
令和5年6月26日 ～7月31日	業者よりプレゼン・デモを実施してもらい導入機種選定、導入計画を検討する。 導入担当者：介護総括主任 導入・活用・結果検証担当者：全介護職員	施設長、介護総括主任、介護職員
令和5年8月28日	事前協議書提出	
令和5年10月10日	補助金内示	
令和5年10月20日	補助金交付申請書提出	
令和5年11月10日	補助金交付決定	
令和5年11月20日	施設内無線LAN状況確認	
令和5年12月22日 ～12月26日	無線LANアクセスポイント増設工事実施	
令和6年1月23日	眠りSCAN10台設置	
令和6年2月22日	眠りSCAN導入業者より使用方法、活用方法を学ぶための勉強会を実施。	介護総括主任、介護主任3名
令和6年2月23日 ～2月29日	全職員に使用方法、活用方法の周知	介護職員
令和6年3月1日 ～3月15日	効果検証のためのアンケートを実施。実績報告。	介護職員

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	医療法人 宏友会		
事業所名	介護老人保健施設うらら		
介護サービスの種類	介護老人保健施設 入所	定員数	100床
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] パラマウントベッド ① エスパシアシリーズ KA-N171J 離床センサーベッド ② 眠り SCAN NN-1520 眠り SCAN [導入時期] 令和6年1月 [導入台数] 各2台		
事業完了日(支払日)	令和6年 3月末日予定		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	うらら入所にて新年度、夜勤帯で4月から夜勤介護職員が 眠り SCAN NN-1520 眠り SCAN を起動して2週間評価して 評価結果をケースカンファレンスで、転倒・転落のリスクがある 方のアセスメント評価や夜間、尿失禁がある方の排泄アセスメ ントを分析してケアプランへ、リスクマネージメントや排泄計 画を立案する		

導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	介護職員がナースコールのベッドセンサー連動データや、行動評価の記録と排泄計画の記録をカンファレンスで分析できる 眠りスキャンの睡眠時、危険な行動の心理状態の原因の洞察や、夜間の排泄誘導のタイミングを把握し適切なケアができる
導入後の課題や次年度計画の確認等	2年目、入所者へ適切なケア計画で安全指導や見守りを実施できる 入所者へ適時快適な排泄計画で排泄誘導が実施できる 3年目、対応の優先順がわかるので、職員の心労や負担が軽減している 適切な排泄誘導により入所者の失禁が軽減し、オムツ交換などの介助が減る

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
6年 1月31日	エスパシアシリーズ KA-N171J 離床センサーベッド、眠り SCAN NN-1520 眠り SCAN の納品確認	業務部長 ----- 介護係長 -----
6年 2月20日	パラマウント社眠りスキャン・メーカー 取り扱い説明会	介護係長 ----- 主任 5名
6年 3月末日予定	職員の習熟及び教育・研修計画・マニュアル整備 職員研修	入所部会 ----- 参加 30名
6年 4月末日～ 7年 4月末日	使用2週間後のデータ分析しケアプランへ立案 効果の検証、業務改善の取り組み評価～PDCA	カンファレンス ----- 参加 6名

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 平田厚生会		
事業所名	寿康園指定介護老人福祉施設(従来型) 【事業所番号:0673200267】		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	36名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] センサー付低床3モーターベッド一式(17台) [導入台数] 17台 [導入日] 令和6年2月28日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月28日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入)リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	導入後は、特に転落や転倒などのリスクが高い利用者に対して使用している。使用モードは概ね「起き上がり」モードであり、ご利用者の身体能力に応じて「動き出し」モードに設定し、あんしんの絆に連動して対応している。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	<ul style="list-style-type: none"> ・あんしんの絆との併用により、ご利用者のベッド上での状態が把握できることで頻回な訪室が減り職員の業務負担が軽減している。 ・体重測定では重量のある車椅子用体重計を運んで計測していたが、ベッド上での測定が可能になったことにより職員の業務負担が軽減している。 ・電動ベッドの導入により、ご利用者の体格に合わせてベッドの高さを調整でき、ギャッジアップの際もリモコン操作で容易に調整できることから、ご利用者の移乗時の負担軽減、職員の身体的負担につながっている。 		
導入後の課題や次年度計画の確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にご利用者の身体状況とセンサーベッドのモードが適合しているかを確認する機会が必要。 (・センサーに頼り切らずに、巡視でご利用者の状態を確認することは継続する。) 		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年4月21日	夜勤時不穏要素のある入居者対応の問題を解消するため、ベッドに見守りセンサー内蔵の機種を選定。また、施設で使用している殆どがフランスベッドであり、他メーカーだと操作方法等が異なり使用しにくいいためM2を選定。あんしんの絆に連動できるか確認するため、フランスベッド、ユニティーネットワークと打ち合わせを行う。	施設長・介護主任・理学療法副主任・業務主任
令和5年4月25日	フランスベッド並びにユニティーネットワークから協力していただきデモをする。あんしんの絆に連動できるか確認。	施設長・介護主任・理学療法副主任・業務主任・介護員5名
令和5年5月12日	業者よりベッド内蔵センサーのメリット、デメリットの説明	施設長・介護主任・理学療法副主任・業務主任・業者
令和5年5月24日	センサー内蔵ベッドM2のデモ。フランスベッドメーカーより機能の説明。約2週間ベッドを借り現場で評価。	施設長・介護主任・理学療法副主任・業務主任・業者介護員4名
令和5年6月7日	メーカー来園しデモ機の引き上げ。ナースコールとの連動を確認良好。	業務主任・業者
令和5年6月22日	センサー内蔵ベッドM2評価について、センサーの反応も早く危険も早く察知できるとのことで高評価。フランスベッドM2導入に向け見積もりを業者に依頼する。	施設長・介護主任・業務主任・介護員
令和5年7月27日	令和5年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金募集の要項が届き申請準備に入る。	施設長・業務主任
令和5年11月10日	補助金交付決定	
令和5年12月5日	理事会で報告後、一般競争入札の準備に入る。	施設長・業務主任
令和5年12月25日	入札執行、業者決定。	
令和5年12月29日	売買契約	
令和6年2月28日	設置完了。介護職員に操作説明 業者支払い完了。	施設長・介護主任・理学療法副主任・業務主任・業者介護員(勤務者全員)
令和6年3月15日	実績報告	

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人敬寿会		
事業所名	特別養護老人ホーム鈴木敬寿園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りSCAN Wi-Fi [導入台数] 15台 [導入日] 令和6年2月29日		
事業完了日（支払日）	令和6年3月28日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入/リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行うことが可能となっている介護ソフト名（NDソフトほのぼのnext） 記録業務、情報共有業務、請求業務等 使用頻度 毎日24時間		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果。 ・介護時間の短縮に伴う、業務効率化。 ・システムチェックに利用者の健康管理ができ、生産性の向上を図ることができる。 ・効果検証を行いながらよりよい活用方法を見出し、より業務の効率化を図ることができる。 		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題 実際機器を活用し、全職員が使用できるよう会議・研修を開催し、介護時間の短縮と業務の効率化を行い、いかに生産性の向上に繋げるかが課題である。 ○導入後（翌年）1年目 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果 ○2年目 介護時間の短縮に伴う、業務効率化。システムチェックに利用者の健		

	健康管理ができ、生産性の向上を図ることができる。 ○3年目 効果検証を行いながらよりよい活用方法を見出し、より業務の効率化を図ることができる。
--	---

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
6年 12月 1日 ～ 6年 2月 29日	業務の状況分析・問題点の洗い出し 機種選定・導入計画の検討 導入担当者・チーム体制整備 実際に機器を使用する者の意見聴取	9名
6年 2月 7日 ～ 6年 2月 9日	Wi-fi 工事	
6年 2月 29日	眠りスキャン 導入	
6年 3月 1日 ～ 6年 3月 31日	職員の習熟及び教育・研修計画 導入によるケア方法の見直し予定	9名
6年 3月 1日 ～ 6年 3月 31日	効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討	9名
6年 3月 7日	契約日	
6年 3月 28日	支払日	

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人敬寿会		
事業所名	特別養護老人ホーム沼木敬寿園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	29名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠りSCAN Wi-Fi [導入台数] 15台 [導入日] 令和6年2月29日		
事業完了日(支払日)	令和6年3月27日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入(リース(契約期間 年 月～ 年 月))		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行うことが可能となっている介護ソフト名(NDソフトほのほのnext) 記録業務、情報共有業務、請求業務等 使用頻度 毎日24時間		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	・介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果。 ・介護時間の短縮に伴う、業務効率化。 ・システムチェックに利用者の健康管理ができ、生産性の向上を図ることができる。 ・効果検証を行いながらよりよい活用方法を見出し、より業務の効率化を図ることができる。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入後の課題 実際機器を活用し、全職員が使用できるよう会議・研修を開催し、介護時間の短縮と業務の効率化を行い、いかに生産性の向上に繋げるかが課題である。 ○導入後(翌年)1年目 介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果 ○2年目 介護時間の短縮に伴う、業務効率化。システムチェックに利用者の健		

	康管理ができ、生産性の向上を図ることができる。 ○3年目 効果検証を行いながらよりよい活用方法を見出し、より業務の効率化を図ることができる。
--	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
6年 12月 1日 ～ 6年 2月 29日	業務の状況分析・問題点の洗い出し 機種選定・導入計画の検討 導入担当者・チーム体制整備 実際に機器を使用する者の意見聴取	9名
6年 2月 7日 ～ 6年 2月 9日	Wi-fi 工事	
6年 2月 29日	眠りスキャン 導入	
6年 3月 1日 ～ 6年 3月 31日	職員の習熟及び教育・研修計画 導入によるケア方法の見直し予定	9名
6年 3月 1日 ～ 6年 3月 31日	効果検証の実施、効果検証の結果に基づいた業務改善の取組検討	9名
6年 3月 7日	契約日	
6年 3月 27日	支払日	

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人天童福祉厚生会		
事業所名	特別養護老人ホーム清幸園		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	80
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] [導入台数] 眠りスキャン (パラマウントベッド株式会社) 6台 モバイル端末 10台 [導入日] 令和6年3月		
事業完了日(支払日)	令和6年3月28日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○(購)リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	当施設は3つのグループに分かれておりますので、各グループ2台ずつ使用し睡眠状態の把握ができていない方へ使用し、適切なタイミングでの排泄ケアや体調変化の早期察知、看取り介護時の体調変化の察知に使用する。モバイル端末を更新し、モバイル端末より状況を随時確認する。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	介護従事者への満足度調査を予定。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	導入に伴う研修の実施やマニュアル作成、機器操作の習熟を図り、日常業務へ取り込めるようにする。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年11月2日	広報・ICT委員会にて状況分析、問題点の洗い出し	広報・ICT委員5
令和5年11月	導入機器選定 眠りスキャン6台 モバイル端末10台	施設長・事務・広報ICT委員3名
令和5年11月20日	業者へ見積り依頼	事務員
令和5年12月20日	業者へ発注	事務員
令和6年3月27日	納品・機器導入	ICT委員会 介護従事者
令和6年3月28日	支払	事務員
令和6年3月以降	取扱説明会 導入研修会	ICT委員会 介護従事者
	睡眠データの活用法検討 導入によるケア方法の見直し	介護従事者
	効果検証の実施 職員へのアンケート 介護事故・ヒヤリハットの検証	介護従事者 ICT委員会 介護事故対策委員会

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 天童福祉厚生会		
事業所名	明幸園ショートステイセンター		
介護サービスの種類	短期入所生活介護	定員数	18名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[介護ロボット製品名] 眠りスキャン (パラマウントベッド株式会社) 導入台数3台 導入日: 令和6年2月19日 [通信環境整備製品名] Wi-Fi 工事 実施日: 令和6年1月31日 デジタルインカム (ティーピーアイ) 導入台数2台 導入日: 令和6年2月19日		
事業完了日(支払日)	令和6年3月25日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> 購入・リース (契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	眠りスキャンは3台導入。対象者は、夜間浅眠の方、睡眠状況を把握したい方、体調変動のある方を中心にピックアップし、利用期間中に活用して睡眠データの集約を進めている。 デジタルインカムは介護職員が常時装着し、介護職員間または併設本体特養の看護職員や介護職員との情報共有の円滑化、申し送りの簡素化などの業務効率化に役立っている。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	眠りスキャン導入により睡眠状況を可視化することで、睡眠状態やベッド上での状態変化に合わせた個別対応、転倒などのリスクヘッジ対策に効果を発揮している。また、当該情報をご家族とも共有することで在宅介護にも好影響をもたらすと期待している。 デジタルインカムの導入により迅速な情報共有が可能になり、特に少人数体制となる時間帯の職員の連絡手段として有効に機能している。業務の効率化が図られ、働くスタッフの体力的・心理的負担軽減に寄与している。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	介護ロボット等の機器操作の習熟を図り、介護従事者の負担解消、離職者の減少、ケアの品質維持、この3点の導入目的が達成できるよう適切に運用する。 次年度は、安眠を妨げない個別ケアの実践、睡眠データから動き出しを予測し転倒リスクを低減させる、これらを重点目標にする。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年8月2日	介護ロボット導入機器の選定打ち合わせを行う。 今年度はショートステイフロアの通信環境整備と、インカム、眠りスキャンの導入を決める。	施設長ほか5名
2023年10月10日	経営会議内で介護ロボット導入機器、台数等について事業計画内容を確認する。	施設長ほか10名
2023年10月19日	補助金交付申請手続きを行う。	事務担当者
2024年1月22日	無線LAN工事(アクセスポイント増設)打ち合わせ	施設長ほか1名
2024年1月30日～2024年1月31日	無線LAN配線工事の実施	
2024年2月9日	無線LAN工事費支払い完了	
2024年2月19日	眠りスキャン導入に伴う通信状況確認、接続IPアドレスの確認、サーバー設置の確認。 眠りスキャン、インカム機器等設置。 ソフトインストール作業・サーバー設置作業・通信確認。 取扱い説明を受け、運用を開始する。	施設長ほか4名
2024年3月25日	眠りスキャン、インカム機器等設置費支払い完了	

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソレ寒河江		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	46名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、SH-M20AX-B(スマホ) [導入台数] 眠り SCAN(10台)、眠り SCAN eye(2台)、スマホ(3台) [導入日] 令和6年3月13日		
事業完了日(支払日)	令和6年3月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入(リース(契約期間 年 月～ 年 月))		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	納品になったばかりでまだ、使用していません。現在使用する入居者を選定中です。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	納品になったばかりで使用した効果の検証は出来ていません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。 先ずは上で上げた目標の達成を目指す。その為にも、以前から導入している弊社他施設も含めて勉強会を行い、目標達成を目指す。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
令和5年2月28日	「眠りSCAN」基本勉強会 (弊社複数事業所合同勉強会)	20名
2023年3月6日～	「眠りSCAN 5台」「眠りSCAN eye 1台」の導入	4名
2023年6月～	スタッフから「眠りSCAN、眠りSCAN eye」増台希望の話あり	
2023年8月1日～ 2023年8月28日	補助金事前協議書の作成、提出。	
2023.11.10	補助金交付決定	
2024.3.13	納品・設置・設定完了	
2024.3.29	支払い完了	
2024.4	「「眠りSCAN」使用施設社内勉強会」予定	20名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ吉原		
介護サービスの種類	特定施設入居者生活介護指定事業者	定員数	44名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN eye [導入台数] 3台 [導入日] 令和6年3月13日		
事業完了日（支払日）	令和6年3月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース（契約期間 年 月～ 年 月）		
使用状況 （使用する業務・使用頻度等）	納品になったばかりでまだ、使用していません。現在使用する入居者を選定中です。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと（介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度、収支の改善など）	納品になったばかりで使用した効果の検証は出来ていません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。 先ずは上で上げた目標の達成を目指す。その為にも、以前から導入している弊社他施設も含めて勉強会を行い、目標達成を目指す。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年2月28日～	「眠りSCAN 4台」「眠りSCAN eye 1台」の導入	20名
2023年2月28日～	「眠りSCAN」運用委員会出席（各施設の「眠りSCAN」担当者勉強会）	4名
2023年5月22日～	「眠りSCAN」運用委員会出席（各施設の「眠りSCAN」担当者勉強会）	
2023年6月～	スタッフから「眠りSCAN eye」増台希望の話あり	
2023年8月1日～ 2023年8月28日	補助金事前協議書の作成、提出。	
2023.11.10	補助金交付決定	
2024.3.13	納品・設置・設定完了	
2024.3.29	支払い完了	
2024.4	「「眠りSCAN」使用施設社内勉強会」予定	20名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ中桜田		
介護サービスの種類	介護予防特定施設入居者生活介護	定員数	44人
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、SH-M20AX-B(スマホ)、HP ProDesk 400 G7 SFF、PHILIPS 液晶ディスプレイ 21.5 型、WAPS-AG1266DHP、BS-GSL2008P [導入台数] 眠り SCAN(8台)、眠り SCAN eye(1台)、SH-M20AX-B(スマホ)(2台)、HP ProDesk 400 G7 SFF(1台)、PHILIPS 液晶ディスプレイ 21.5 型(1台)、WAPS-AG1266DHP(6台)、BS-GSL2008P HUB(2台) [導入日] 令和6年3月13日		
事業完了日(支払日)	令和6年3月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○ 購入リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	納品なったばかりでまだ、使用していません。現在使用する入居者を選定中です。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	納品なったばかりで使用した効果の検証は出来ていません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。 先ずは上で上げた目標の達成を目指す。その為にも、以前から導入している弊社他施設も含めて勉強会を行い、目標達成を目指す。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年3月～	スタッフから「眠り SCAN、眠り SCAN eye」導入の希望の話あり。	
2023年4月10日	「眠り SCAN」を使用している弊社他施設の見学	4名
2023年8月1日～ 2023年8月28日	補助金事前協議書の作成、提出。	
2023.11.10	補助金交付決定	
2024.3.13	納品・設置・設定完了	
2024.3.29	支払い完了	
2024.4	「眠り SCAN」使用施設社内勉強会 予定	20名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社タイヨウ		
事業所名	ソーレ天童		
介護サービスの種類	介護予防特定施設入居者生活介護	定員数	42名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 眠り SCAN、眠り SCAN eye、HP ProDesk 400 G7 SFF、PHILIPS 液晶ディスプレイ [導入台数] 眠り SCAN(10台)、眠り SCAN eye(1台)、HP ProDesk 400 G7 SFF(1台)、PHILIPS 液晶ディスプレイ(1台)、 [導入日] 令和6年3月13日		
事業完了日(支払日)	令和6年3月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入/リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	納品になったばかりでまだ、使用していません。現在使用する入居者を選定中です。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	納品になったばかりで使用した効果の検証は出来ていません。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	・業務の効率化と業務負担軽減。スタッフの心身負担の軽減。 まずは上で上げた目標の達成を目指す。その為にも、以前から導入している弊社他施設も含めて勉強会を行い、目標達成を目指す。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
2023年3月～	スタッフから「眠り SCAN、眠り SCAN eye」導入の希望の話あり。	
2023年4月10日	「眠り SCAN」を使用している弊社他施設の見学	4名
2023年8月1日～ 2023年8月28日	補助金事前協議書の作成、提出。	
2023.11.10	補助金交付決定	
2024.3.13	納品・設置・設定完了	
2024.3.29	支払い完了	
2024.4	「眠り SCAN」使用施設社内勉強会」予定	20名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人 新庄かつろく会		
事業所名	介護老人保健施設 新庄薬師園		
介護サービスの種類	介護老人保健施設 入所サービス	定員数	60床
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 株式会社 リンクジャパン 「eMamo」 [導入台数] 70台 [導入日] 令和6年2月29日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月29日 (令和6年3月11日)		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○ <u>購</u> 入(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	○定時巡視以外での見守り 主には毎日19時～翌日8時の夜間帯 ○離床センサー作動時の動作確認		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	○設置完了から報告までの期間が短いため、細かい効果は不明である。 ○離床センサーを使用している利用者への見守りがスマートフォン等で確認できるため、夜勤帯での訪室頻度の減少あり。		
導入後の課題や次年度計画の確認等	○設置完了からの報告までの期間が短いため、課題は不明。 ○職員の業務負担の軽減になっているかのアンケート調査の実施。 ○ベッド周囲でのひやりはっと・事故発生状況の検証ができる。		

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
R4年10月～R5年2月	見守り機能のある福祉機器の情報収集	業務検討委員会
R5年3月～4月	Wi-Fi環境での見守り機能がある福祉機器の見積もりを依頼、同時にオンラインでの製品説明を受ける	各主任、業務検討委員会
R5年4月～5月	Wi-Fi環境の調査依頼、調査を実施	事務
R5年7月～8月	デモ機の確認 各職種参加により、実際の見守り機能対象者をどのように選定していくかの検討	各主任、業務検討委員会
R5年8月～12月	各ユニット、各職種で見守り機能対象者の選定現時点での離床センサー使用者の身体・精神状況と離床センサーの必要性の再確認 機器使用における注意点の説明、マニュアル作成	各ユニット、安全対策担当委員、全職種
R5年11月17日	見積合わせによる納入業者の決定	事務
R6年1月9日	売買契約の取り交わし	
R6年1月～2月	本人・家族への見守り介護ロボットの説明、カメラ使用の同意・確認	事務
1月17日～31日	各居室へのネット回線準備工事(スズデン)	
R6年2月8日	インターネット回線開通(NTT東日本)	事務
R6年2月19日～25日	カメラ等、設備の設置(スズデン) 動作確認(蔵王サブライズ・スズデン)	事務、介護主任
R6年2月29日	機器の引き渡し	事務
R6年3月1日～	使用開始 ・使用上の不明点の洗い出し	介護・看護職員、業務検討委員会
R6年3月11日	支払い完了	事務

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。
 ※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。
 ※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社 ユートピアライフ		
事業所名	介護付有料老人ホームやすらぎ苑【事業所番号：0670401108】		
介護サービスの種類	(予防)特定施設入居者生活介護	定員数	63名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 離床起き上がりセンサー アンシェル(積水化学工業(株)) [導入台数] 54台 [導入日] 令和5年12月19日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入 リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	介護付有料老人ホームやすらぎ苑において、入居者の就寝時や午睡の際に使用しています。 使用する業務として ・入居者の情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・職員の負担を軽減する。 ・可視化した情報をもとに根拠に基づき介護サービスのさらなる充実を行うことで、入居者の安眠の確保と安全と業務の効率化・業務負担の軽減を図る。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	導入後に職員にアンケートを実施する。 ・就寝中のバイタルサインをひとつの目安として確認することが出来、入居者のみならず職員の安心に繋がった。転倒などの事故防止にも役立てることができると思う。 ・夜間帯の入居者の情報からある程度行動が予測できるようになり、トイレ誘導や離床の声かけがやりやすくなった。 ・訪室の回数が少なく、入居者の安眠にも繋がっていると思う。 ・2時間おきの安全確認時以外のこまめな見回りが、センサー感知した時の対応である程度把握できたので業務軽減になっている。 ・心拍数・呼吸数が画面上で把握できるので訪室回数が減り、業務軽減になっている。 ・これまでの離床着床センサーよりも反応が早く、反応時、素早		

	く訪室できるため、転倒等を未然に防ぐことができた。 ・入居者の状態がある程度把握できるので、他の業務に時間を使えるようになった。
導入後の課題や次年度計画の確認等	1年目 ・入居者の情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)を職員間で共有し、業務の効率化と職員の負担軽減を図る。 ・入居者個々の入眠状況や夜間帯の様子を把握して、日中の活動量や生活リズムとの関連性について課題を整理する。 2年目 ・入居者の情報をもとにタイムテーブルの見直しを行い、業務の効率化と職員の負担軽減を図る。 ・入居者個々の1日を通した生活リズムを分析し、根拠に基づいたケアを提供する。 3年目 ・タイムテーブル変更後や職員の身体的・精神的負担軽減について効果を検証していく。 ・職員が根拠に基づき、職員が自信ややりがいを持って認知症ケアを実践することができる。

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年月日～年月日		□□ほか○名
令和4年9月1日～令和5年3月31日	業務の状況分析・問題点の洗い出し→施設内の検討委員会で議論	統括管理者ほか10名
令和5年4月3日～令和5年4月7日	導入担当者・チーム体制整備→検討委員会内で導入担当者を選定 事業所で使用している介護用ソフト「NDソフトウェアほのぼのNEXT」やタブレット端末との連動が可能な事を確認し、入眠状況の可視化の為の機器について情報を収集し、導入に向けて検討した。	統括管理者ほか9名
令和5年4月10日～令和5年5月31日	機種選定・導入計画の検討→資料収集、デモの実施	統括管理者ほか9名
令和5年6月1日～令和5年6月16日	実際に機器を使用する職員(介護職員等)の意見聴取→デモ参加の職員へアンケートの実施	統括管理者、副主任、中堅職4名
令和5年8月1日～令和5年8月25日	事前協議書の作成、提出	施設長
令和5年11月1日～令和5年11月15日	補助金の内示 業者選定・発注(補助金交付日決定後)…電話発注	施設長
令和5年11月1日～令和5年12月31日	職員の習熟及び教育・研修計画→導入日の確定、導入時の操作説明会を実施	統括管理者、副主任
令和5年12月19日	契約日と機器導入日	
令和6年2月29日	機器金額支払い	施設長
令和6年3月1日～令和6年3月29日	効果検証の実施→アンケートを実施し効果の検証を行い、業務改善の取組実施	統括管理者ほか8名

	全職員に使用方法の周知を行う。マニュアルの整備。	
令和7年3月1日～ 令和9年4月30日	毎年効果検証の実施、業務改善の取組を行い、状況報告書・事業実施状況調書を提出	管理者ほか8名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	株式会社 ユートピアライフ		
事業所名	介護付有料老人ホームやすらぎ苑【事業所番号：0670401108】		
介護サービスの種類	(予防)短期入所生活介護	定員数	3名
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 離床起き上がりセンサー アンシエル(積水化学工業(株)) [導入台数] 2台 [導入日] 令和5年12月19日		
事業完了日(支払日)	令和6年2月29日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○(購)入リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	介護付有料老人ホームやすらぎ苑において、入居者の就寝時や午睡の際に使用しています。 使用する業務として ・入居者の情報(睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数)をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・職員の負担を軽減する。 ・可視化した情報をもとに根拠に基づき介護サービスのさらなる充実を行うことで、入居者の安眠の確保と安全と業務の効率化・業務負担の軽減を図る。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	導入後に職員にアンケートを実施する。 ・就寝中のバイタルサインをひとつの目安として確認することが出来、入居者のみならず職員の安心に繋がった。転倒などの事故防止にも役立てることができると思う。 ・夜間帯の入居者の情報からある程度行動が予測できるようになり、トイレ誘導や離床の声かけがやりやすくなった。 ・訪室の回数が少なく、入居者の安眠にも繋がっていると思う。 ・2時間おきの安全確認時以外のこまめな見回りが、センサー感知した時の対応である程度把握できたので業務軽減になっている。 ・心拍数・呼吸数が画面上で把握できるので訪室回数が減り、業務軽減になっている。 ・これまでの離床着床センサーよりも反応が早く、反応時、素早		

	<p>く訪室できるため、転倒等を未然に防ぐことができた。 ・入居者の状態がある程度把握できるので、他の業務に時間を使えるようになった。</p>
導入後の課題や次年度計画の確認等	<p>1年目 ・入居者の情報(睡眠・覚醒・起き上がり・酔床・呼吸数・心拍数)を職員間で共有し、業務の効率化と職員の負担軽減を図る。 ・入居者個々の入眠状況や夜間帯の様子を把握して、日中の活動量や生活リズムとの関連性について課題を整理する。</p> <p>2年目 ・入居者の情報をもとにタイムテーブルの見直しを行い、業務の効率化と職員の負担軽減を図る。 ・入居者個々の1日を通した生活リズムを分析し、根拠に基づいたケアを提供する。</p> <p>3年目 ・タイムテーブル変更後や職員の身体的・精神的負担軽減について効果を検証していく。 ・職員が根拠に基づき、職員が自信ややりがいを持って認知症ケアを実践することができる。</p>

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年月日～年月日		□□ほか○名
令和4年9月1日～令和5年3月31日	業務の状況分析・問題点の洗い出し→施設内の検討委員会で議論	統括管理者ほか10名
令和5年4月3日～令和5年4月7日	導入担当者・チーム体制整備→検討委員会内で導入担当者を選定 事業所で使用している介護用ソフト「NDソフトウェアほのぼのNEXT」やタブレット端末との連動が可能な事を確認し、入眠状況の可視化の為の機器について情報を収集し、導入に向けて検討した。	統括管理者ほか9名
令和5年4月10日～令和5年5月31日	機種選定・導入計画の検討→資料収集、デモの実施	統括管理者ほか9名
令和5年6月1日～令和5年6月16日	実際に機器を使用する職員(介護職員等)の意見聴取→デモ参加の職員へアンケートの実施	統括管理者、副主任、中堅職4名
令和5年8月1日～令和5年8月25日	事前協議書の作成、提出	施設長
令和5年11月1日～令和5年11月15日	補助金の内示 業者選定・発注(補助金交付日決定後)…電話発注	施設長
令和5年11月1日～令和5年12月31日 令和5年12月19日	職員の習熟及び教育・研修計画→導入日の確定、導入時の操作説明会を実施 契約日と機器導入日	統括管理者、副主任
令和6年2月29日 令和6年3月1日～令和6年3月29日	機器金額支払い 効果検証の実施→アンケートを実施し効果の検証を行い、業務改善の取組実施	施設長 統括管理者ほか8名

	全職員に使用方法の周知を行う。マニュアルの整備。	
令和7年3月1日～ 令和9年4月30日	毎年効果検証の実施、業務改善の取組を行い、状況報告書・事業実施状況調書を提出	管理者ほか8名

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	ライフケア黒森 短期入所生活介護事業所		
介護サービスの種類	短期入所生活介護事業所	定員数	16
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 株式会社 エヌジェイアイ 安心ひつじα [導入台数] 16台 [導入日] 令和6年1月15日		
事業完了日(支払日)	令和6年1月15日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	・ライフケア黒森短期入所を利用している全ご利用者のベッドに使用しています。 ・利用者の情報(睡眠、覚醒、起き上がり、離床、呼吸数、心拍数)をリアルタイムで可視化し、ご利用者一人ひとりの生活パターンを理解し、ご利用者の思いやしいことを予測し、前もって対処できる支援、自立支援に繋がっています。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	・ご利用者がベッドに臥床している際、呼吸数や心拍数を確認することができ、お部屋に行かなくても見えることで、職員の安心感にも繋がった。 ・ご利用者の起き上がりが可視化される為、転倒などの事故防止にも繋がっている。 ・ご利用者の夜間帯の情報から、ある程度行動が予測できるようになり、トイレ誘導や起床の声をかけやすくなった。 ・夜間帯では、二時間おきの安全確認を行っています。安全確認時以外の時間でも、起き上がりなどでセンサー感知する為、職員の安心に繋がっています。 ・安心ひつじの情報が見れるアプリの入ったタブレット画面から、利用者の状態がある程度把握できるようになったので、職員は他の業務に時間を使うこともできています。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	1年目 ・介護ロボット(以下安心ひつじとする。)の導入で、ご利用者、職員に対するメリット・デメリットを挙げ、安心ひつじに頼る介護ではなく、安心ひつじを活かす介護としていきます。 ・法人のリスクマネジメント委員会で、プライバシーや尊厳について記して作成した「介護ロボット・ICT機器導入指針」に基づき、職員研修や使用マニュアルを活かし、機器操作に習熟できるよう環境を整えます。 2年目 ・ご利用者の生活パターンの理解から「先回りできる介護」を理解します。 ・転倒、転落のリスクを事前に発見・軽減し、ご利用者が安全に生活できる環境を整えます。 3年目 ・安心ひつじ使用による対応データを集約・分析することで、ご利用者の行動傾向を理解し、「先回りできる介護」を提供します。 ※正覚会では、ご利用者の思いやしいことを予測し、前もって対処できる支援を「先回りできる介護」という表現で職員間で共通理解しています。
------------------	--

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和5年4月	・業務分析と問題点の洗い出しを行う。	係長 主任
令和5年5月	・課題となる背景より機種を選定 ・導入に向けた計画策定	係長 主任
令和5年7月	・導入後の介護の在り方について話し合い。 ・導入目的の共有。 ・実際に機器を使用する介護職員の意見聴取。	係長 主任 副主任
令和5年8月	・機器の導入にあたり、チーム体制の整備。 ・係長、主任、副主任が主となり、活用とその効果の検証を行う。	係長 主任 副主任
令和5年9月	・介護ロボット(安心ひつじ)導入手続き(県より交付決定後に実施) ・機器の使用に当たり指針の作成 ・職員の習熟度及び教育の為、職員向けに研修会の実施	係長 主任 副主任
令和5年11月	・使用方法についてマニュアルを作成する。	係長 主任

令和6年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の導入、使用開始（1月15日） ・購入先業者からの説明 <p>【機器導入支払日】 株式会社メコム 令和5年12月27日 有限会社アムザ 令和5年12月26日</p>	係長 主任・副主任 現場職員
令和6年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・機器導入後の介護方法の評価と介護方法の見直し。効果の検証。 ・検証結果に基づき業務改善の取り組み再検討する。（PDCA サイクル） ・職員向けにフォローアップ研修の計画 	係長 主任

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。

事業実績書

記入者	所属名
	職・氏名
	電話番号
	メール

1 事業内容

事業者名	社会福祉法人正覚会		
事業所名	特別養護老人ホームライフケア黒森		
介護サービスの種類	介護老人福祉施設	定員数	80
〔介護ロボットの製品名〕 〔通信環境整備の製品名〕 導入時期及び台数	[製品名] 株式会社 エヌジェイアイ 安心ひつじα [導入台数] 80台 [導入日] 令和6年1月15日		
事業完了日(支払日)	令和6年1月15日		
購入又はリースの別 ※該当する方に○を記入	○購入・リース(契約期間 年 月～ 年 月)		
使用状況 (使用する業務・使用頻度等)	・特別養護老人ホームに入所している全ご利用者のベッドに使用しています。 ・利用者の情報(睡眠、覚醒、起き上がり、離床、呼吸数、心拍数)をリアルタイムで可視化し、ご利用者一人ひとりの生活パターンを理解し、ご利用者の思いやしいことを予測し、前もって対処できる支援、自立支援に繋がっています。		
導入効果 ※導入によって得られた効果に関するデータを客観的な評価指標に基づき示すこと(介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度、収支の改善など)	・ご利用者がベッドに臥床している際、呼吸数や心拍数を確認することができ、お部屋に行かなくても見えることで、職員の安心感にも繋がった。 ・ご利用者の起き上がりが可視化される為、転倒などの事故防止にも繋がっている。 ・ご利用者の夜間帯の情報から、ある程度行動が予測できるようになり、トイレ誘導や起床の声をかけやすくなった。 ・夜間帯では、二時間おきの安全確認を行っています。安全確認時以外の時間でも、起き上がりなどでセンサー感知する為、職員の安心に繋がっています。 ・安心ひつじの情報が見れるアプリの入ったタブレット画面から、利用者の状態がある程度把握できるようになったので、職員は他の業務に時間を使うこともできている。		

導入後の課題や次年度計画の確認等	1年目 ・介護ロボット(以下安心ひつじとする。)の導入で、ご利用者、職員に対するメリット・デメリットを挙げ、安心ひつじに頼る介護ではなく、安心ひつじを活かす介護としていきます。 ・法人のリスクマネジメント委員会で、プライバシーや尊厳について記して作成した「介護ロボット・ICT機器導入指針」に基づき、職員研修や使用マニュアルを活かし、機器操作に習熟できるよう環境を整えます。 2年目 ・ご利用者の生活パターンの理解から「先回りできる介護」を理解します。 ・転倒、転落のリスクを事前に発見・軽減し、ご利用者が安全に生活できる環境を整えます。 3年目 ・安心ひつじ使用による対応データを集約・分析することで、ご利用者の行動傾向を理解し、「先回りできる介護」を提供します。 ※正覚会では、ご利用者の思いやしいことを予測し、前もって対処できる支援を「先回りできる介護」という表現で職員間で共通理解しています。

2 実施経過

年月日	実施内容	従事者
年 月 日 ～ 年 月 日		□□ほか○名
令和5年4月	・業務分析と問題点の洗い出しを行う。	係長 主任
令和5年5月	・課題となる背景より機種を選定 ・導入に向けた計画策定	係長 主任
令和5年7月	・導入後の介護の在り方について話し合い。 ・導入目的の共有。 ・実際に機器を使用する介護職員の意見聴取。	係長 主任 副主任
令和5年8月	・機器の導入にあたり、チーム体制の整備。 ・係長、主任、副主任が主となり、活用とその効果の検証を行う。	係長 主任 副主任
令和5年9月	・介護ロボット(安心ひつじ)導入手続き(県より交付決定後に実施) ・機器の使用に当たり指針の作成 ・職員の習熟度及び教育の為、職員向けに研修会の実施	係長 主任 副主任
令和5年11月	・使用方法についてマニュアルを作成する。	係長 主任

令和6年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の導入、使用開始（1月15日） ・購入先業者からの説明 <p>【機器導入支払日】 株式会社メコム 令和5年12月27日 有限会社アムザ 令和5年12月26日</p>	係長 主任・副主任 現場職員
令和6年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・機器導入後の介護方法の評価と介護方法の見直し。効果の検証。 ・検証結果に基づき業務改善の取り組み再検討する。（PDCA サイクル） ・職員向けにフォローアップ研修の計画 	係長 主任

※機器の選定から実績報告時までの経緯や契約日、導入日、支払日を記載すること。

※導入工程や従事者が分かるものであれば、業務日誌等でも可。

※事業計画書のスケジュールに合わせて作成すること。